

科目コード	N222
授業科目名	症状マネジメント
授業科目名(英文)	Symptom Management
講義室等	1102
学科	看護学科
対象学年	2年
開講学期	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-3、○看CP-4、△看CP-5
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	立石 和子
授業の概要	臨床において遭遇することの多い症状について、その発生機序やメカニズム(病態生理)を理解し、対象の反応から臨床判断する能力を養う。症状を呈する対象者へのQOLへの影響から必要な看護を学ぶ。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 主要な症状のメカニズムや発生機序を説明できる 2. 症状の予防や緩和に対するアプローチを根拠に基づき説明できる 3. 症状緩和のための具体的な援助を説明できる
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	筆記試験(80%)、レポート(20%)を総合的に評価し、60点以上を合格とする。
教科書	根拠がわかる症状別看護過程 改訂第3版 関口恵子 北川さなえ編集 南江堂 2016年 978-4-524-26119-2
参考書	適宜紹介する
その他	

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R6.6.3	月	Ⅲ	ガイダンス・症状マネジメントの考え方	講義	立石 和子		
				予習 教科書の序章を読む				
				復習 講義内容の復習				
2	R6.6.10	月	Ⅲ	呼吸器系症状の理解と看護(呼吸困難)	講義	立石 和子		
				予習 教科書の第1章を読む				
				復習 講義内容の復習				
3	R6.6.17	月	Ⅲ	循環器系症状の理解と看護(浮腫)	講義	立石 和子		
				予習 教科書の第2章(P48~55・P143~154)を読む				
				復習 講義内容の復習				
4	R6.6.24	月	Ⅲ	栄養・代謝系症状の理解と看護(発熱心・嘔吐)	講義	立石 和子		
				予習 教科書の第3章(P178~183・P256~267)を読む				
				復習 講義内容の復習				
5	R6.7.1	月	Ⅲ	栄養・代謝系症状の理解と看護(悪心・嘔吐)	講義	立石 和子		
				予習 教科書の第3章(P206~215)を読む				
				復習 講義内容の復習				
6	R6.7.8	月	Ⅲ	知覚系症状の理解と看護(めまい・耳鳴り)	講義	立石 和子		
				予習 教科書の第6章(p430-432・P465~473)を読む				
				復習 講義内容の復習				
7	R6.7.10	水	Ⅳ	知覚系症状の理解と看護(疼痛)	講義	立石 和子		
				予習 教科書の第6章(P486~523)を読む				
				復習 講義内容の復習				
8	R6.7.10	水	Ⅴ	事例の症状マネジメントと具体的な看護技術	グループワーク・講義	立石 和子		
				予習 1~6までの授業資料の復習				
				復習 講義内容の復習				